

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和02年01月23日

計画の名称	伊勢市における東海地震、東南海・南海地震等大規模災害に備えた防災まちづくりの推進（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～令和03年度（4年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	伊勢市												
計画の目標	<p>本市は大規模地震防災対策特別措置法に基づく地震防災対策強化地域（平成14年4月指定）、及び東南海・南海地震に係る地震防災対策の推進に関する特別措置法に基づく東南海・南海地震防災対策推進地域（平成15年12月指定）に指定されていることから、以下の項目について計画の目標と定める。</p> <p>1. 市民及び観光客等の帰宅困難者が利用する食糧等の備蓄物資を確保する。 2. 避難活動を行う市民の災害関連死を防止するため安全衛生を確保する。</p> <p>3. 統廃合のため新設され避難所となる小中学校及び避難所に指定されている小中学校に接続する道路の歩行空間を確保する。 4. 避難所指定されている小中学校において避難訓練を実施し防災意識の向上を図る。</p> <p>5. 学校、警察、道路管理者が行う通学路合同点検の結果に基づいた安全対策を実施することで通学路の安全を確保する。</p>												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	675	A	629	B	0	C	46	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	6.81	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H30当初)	中間目標値	最終目標値 (H33末)
1	二見、宇治地区における備蓄物資を保管するための防災備蓄倉庫の整備率を0%から100%に増加させる。 二見、宇治地区における防災備蓄倉庫の整備率	0%	%	100%
2	災害用トイレを備えた避難所の整備率を0%から100%に増加させる。 避難所の災害用トイレの整備率	0%	%	100%
3	避難活動を円滑に行うため、避難所の太陽光発電照明灯の整備率を0%から100%に増加させる。 避難所の太陽光発電照明灯の整備率	0%	%	100%
4	避難所における市民の安全を確保するため避難所内移動円滑化整備率を30%から100%に増加させる。 避難所内移動円滑化整備率	30%	%	100%
5	避難所指定予定及び指定済みの小中学校に事業対象道路を経由して通学する子どものうち安全な道路を通行できる子どもの割合を0%から79%に増加させる。 避難所指定予定及び指定済みの小中学校に事業対象道路を経由して通学する子どものうち安全な道路を通行できる子どもの割合	0%	%	79%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	地域再生計画を含む	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	-----------	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H30	H31	R02	R03	R04				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	伊勢市	直接	伊勢市	—	—	都市防災総合推進事業(地区公共施設等整備)	備蓄倉庫2箇所 マンホールトイレ9箇所 太陽光発電照明14箇所 移動円滑化13箇所 避難路1,020m	伊勢市	■	■	■	■		629		—	
											小計						629			
											合計						629			

C 効果促進事業																			
基幹事業（大）	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H30	H31	R02	R03	R04			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
市街地整備事業	C13-001	都市防災	一般	伊勢市	直接	伊勢市	—	—	防災備蓄倉庫荷役機器整備事業	防災備蓄倉庫内の荷役機器の整備 2箇所	伊勢市				■		16	—	
		基幹事業で設置する防災備蓄倉庫と一体的に実施することにより、物流機能の向上を図る。																	
	C13-002	都市防災	一般	伊勢市	直接	伊勢市	—	—	災害用トイレ上部施設等整備事業	災害用トイレ上部施設等の整備 8箇所	伊勢市		■	■	■		30	—	
		基幹事業で設置する災害用トイレ（マンホールトイレ）と一体的に実施することにより、利便性の向上を図る。																	
											小計						46		
											合計						46		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

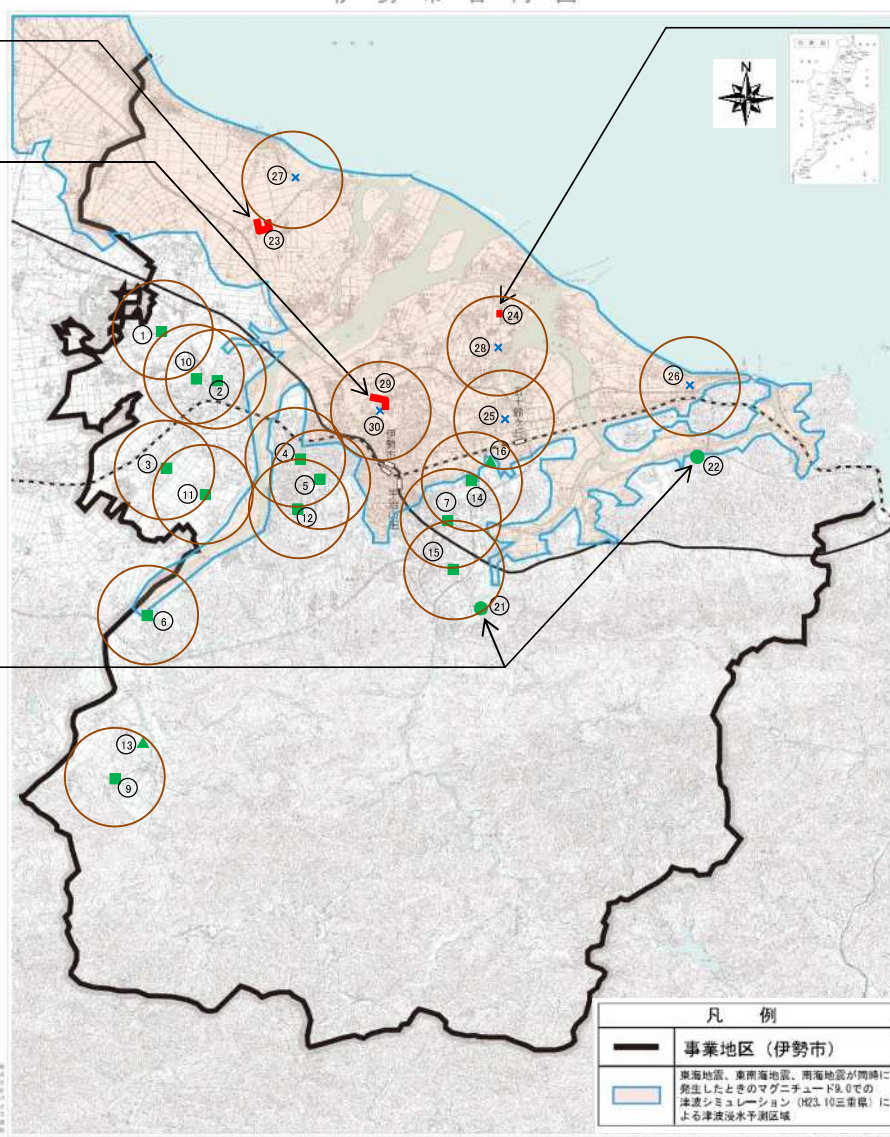
	H30				
配分額 (a)	26				
計画別流用増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	26				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	26				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

参考図面

計画の名称	伊勢市における東海地震、東南海・南海地震等大規模災害に備えた防災まちづくりの推進 (防災・安全)		
計画の期間	平成30年度 ~ 令和3年度 (4年間)	交付対象	伊勢市

伊勢市管内図

- A13-001
避難路の整備
(歩道設置、街渠側溝) L=575m
- A13-001
避難路の整備
(道路新設、車道拡幅、歩道設置) L=330m
- A13-001
災害用トイレの整備
マンホールトイレ 9箇所
- C13-002
災害用トイレ上部施設等整備 8箇所
- A13-001
避難所太陽光発電照明灯の整備 14箇所
- A13-001
避難所内移動円滑化整備 13箇所
- A13-001
防災備蓄倉庫の整備 2箇所
- C13-001
防災備蓄倉庫荷役機器整備 2箇所



A13-001
避難路の整備 (車道拡幅、歩道設置) L=115m

番号	施設名	災害用トイレ マンホール トイレ	太陽光 照明灯	移動 円滑化
1	明野小学校		○	○
2	小俣小学校		○	○
3	城田小学校	○	○	○
4	中島小学校		○	○
5	早修小学校		○	○
6	佐八小学校	○	○	○
7	修道小学校	○	○	○
9	上野小学校	○	○	○
10	小俣中学校		○	○
11	城田中学校	○	○	○
12	伊勢宮川中学校	○	○	○
13	旧沼木中学校	○	○	○
14	倉田山中学校	○		
15	五十鈴中学校		○	○
16	伊勢市生涯学習センター	○	○	
	計	9	14	13

番号	施設名
21	宇治地区防災備蓄倉庫
22	二見地区防災備蓄倉庫
23	桜浜中学校周辺道路(避難路)
24	みなと小学校周辺道路(避難路)
25	浜郷小学校
26	二見浦小学校
27	北浜小学校
28	神社小学校
29	厚生中学校周辺道路(避難路)
30	厚生中学校

凡例	
●	防災備蓄倉庫
■	避難所(小中学校等)
▲	避難所(小中学校等以外)
×	避難所(事業対象外の小中学校等)
—	避難路
○	避難所(小中学校等)を中心とした1km半径円

